
TOKYO FM の 3 セグメント放送 日本の放送局初、「セカンドライフ」内でラジオ番組を配信

TOKYO FMは、7月12日(木)より、日本の放送業界で初めて、ウェブ仮想空間「Second Life (以下セカンドライフ)」に毎日ラジオが流れる放送局を開局いたします。

これにより、社団法人デジタルラジオ推進協会(以下DRP)の『実用化試験放送』(注)において、TOKYO FMが東京で運営し、JFN系列局であるfmosakaが大阪で運営協力している「3セグメント放送」(デジタルラジオ)を、「セカンドライフ」内でもお楽しみいただけるようになります。

「セカンドライフ」内での放送局によるインターネットラジオ配信は、日本初の試みです。

TOKYO FMでは、「セカンドライフ」の日本語版サービスで先行する株式会社メルティングドッツ社(本社：東京都新宿区 代表取締役：浅枝 大志)の協力により、同社が運営する「セカンドライフ」内“メルティングドッツ島”において、TOKYO FMのサテライトスタジオ「3セグメント放送 セカンドライフスタジオ」の建設をスタートさせた。

(スタジオ建設地となる「セカンドライフ」日本語版のURL⇒ <http://www.meltingdots.net/>)

また、7月12日から、「セカンドライフスタジオ」開局記念キャンペーンの第一弾として、TOKYO FMが実世界で展開中の「3セグメント放送」がセカンドライフ内で聴取できるオリジナル・ヘッドフォンを無償で配布。参加者は、自分のアバター(ユーザーが操る仮想世界の住人)にそのヘッドフォンを装着すれば、3セグメント放送の「702ch『MAGIC』」をリアルタイムで楽しむことができます。

TOKYO FMでは、今後、「セカンドライフ」のリアルタイム性、同時接続性といった特長を活用し、バーチャル空間において、アバター向けのライブイベントや試写会、公開放送など、クロスメディア展開を実施していく計画です。



注1) 「セカンドライフ」とは

「セカンドライフ (Second Life)」は、米リンデン・ラボ社が運営するテレビ、インターネットに続く、現在もっとも注目されているWeb2.0型3D空間メディアです。

注2) 3セグメント放送（デジタルラジオ）の実用化試験放送とは

CD並の高音質に加え、放送波の一斉同報性を利用する大容量データ放送が可能な音声放送で、2003年10月より、DRPが東京地区・大阪地区で実用化試験放送を開始。東京地区での出力は、弱電界エリアの受信改善調査等のため800ワットから2.4キロワットに増力した。

実用化試験放送とは、実用に移すために試験的に開設する放送局のことで、CM挿入など実用化に向けた商用サービスが可能。実用化試験放送の中ではTOKYO FMだけが、「ワンセグ」の3倍の帯域を利用したマルチメディア放送「3セグメント放送」を実施しており、701ch『ENERGY』、702ch『MAGIC』、703ch『ニュースチャンネル』の3つのチャンネルを運営している。

注3) 3セグメント放送の受信端末

携帯電話搭載型の受信機としてauのW44S、W51T、W52T、AQUOSケータイW51SH、W54T、W52Hや、ピクセラ社・SKネット社のPC向けUSB型があるほか、固定電話内蔵型、PC内蔵型、カーナビ搭載型などが、今後続々発売される予定。

注4) 702ch『MAGIC』とは

TOKYO FM「3セグメント放送」の3つのチャンネルの中の1つ。

“FOR WOMAN & CHILDREN ～都市生活者の日々の暮らしのために～”をコンセプトに、「オトナが楽しめる良質な音楽」と共に、環境、食、住まい、災害、健康、育児など、女性や子供も安心して暮らせる都市生活を目指すための話題や情報をお届けしているチャンネル。

TOKYO FM 3セグメント マルチメディア放送 オフィシャルサイト

<http://www.tfm.co.jp/dradio/pc/>